

厚生文教常任委員会

- 委員長 飛賀 貴夫
- 副委員長 黒川 悟
- 委員 脇田 義政
- 委員 吉原 秀信
- 委員 南里 正秀
- 委員 丸山 康夫
- 委員 時任 裕史

健康づくり課

子育て世代包括支援センター開設

平成31年1月より健康福祉センターうみハピネス内に「子育て世代包括支援センター」を開設。

妊娠期から就学前の子育て期にわたるまで、切れ目のないサポートを行う。

保健師等が、妊娠・出産・子育て・子どもの成長発達などに関する相談を受けたり、関係機関と連携し、支援を行う。

子育て支援課 保育所民営化

待機児童の解消や多様化する保育ニーズに対応するため、町立貴船保育園の民営化を進める。

運営を移管する事業者を募集するため、31年3月15日に移管先公募合同説明会を実施。書類審査による一次選考を経て、5月にプレゼンテーションによる二次選考を実施し、事業者を決定する予定。

令和2年4月1日移管実施予定。

新園舎の建設は令和3年度に着工、翌年3月までに竣工、令和4年度から新園舎で保育開始予定。

保育所整備計画では、貴船保育園に続き、柳原保育園の民営化も実施予定。

放課後児童クラブ

宇美町児童保育連合会の解散に伴い、平成31年度からの運営委託事業者の公募を行った結果、「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」に決定。

31年度の入所予定児童数は、定員540人に対し、462人。(平成31年2月13日時点)

問 支援員は確保できるのか。

児童保育連合会に所属している支援員を継続して雇用し、事業者の方で広域に確保できるとのこと。



民営化予定の貴船保育園

環境課

地域猫活動支援事業

飼い主のいない猫が引き起こすフンや鳴き声などの問題を解決するため、地域住民が主体となって取り組む不妊去勢手術、ルールを決めて行うエサやりやトイレの管理などの活動。

飼い主のいない猫の数を増やさず、一代限りで生を全うさせ、地域から数年かけて飼い主のいない猫をなくすことを目的としている。

福岡県の補助金を活用し、地域活動を行う地域の活動グループに対し、町が不妊去勢手術券の交付を行う。

住民課

住居表示整備事業

平成7年の第1次から28年の17次まで住居表示実施計画区域10.873km²の88.19%実施済。未整備地区は、井野自治会、平成自治会、辻荒木自治会の一部、早見自治会の一部。

社会教育課

井野、平成、辻荒木の自治会長とは、地元協議、住民説明会の実施について説明をしている。

問 未整備地区の実施の目標年度は。

最短で令和2年度に実施予定。

答 平成31年度スポーツ大会の見直し

年間を通じてスケジュールが詰まっているため、現状では、地域での事業計画ができないとの声も上がっている。

世帯が少ない自治会は、単独では参加できない状況。

コミュニティ協議会、自治会長会へのアンケートによる意見を踏まえ、自治会対抗スポーツ大会などの見直しを行い、5月連休後のグラウンドゴルフ大会も開催を中止。

また、スポーツ協会等からの要望を受け、社会教育・体育施設の利用時間の見直しを検討する。

報告
Report

歴史・文化調査研究特別委員会活動報告

日本最古にして最大級の古代山城「大野城」の歴史を学ぶ
焼米ヶ原では炭化米も採取!今後の観光行政にどう生かせるか



3月1日(金)に、宇美町議会歴史・文化調査研究特別委員会で、日本最古にして、最大級の古代朝鮮式山城「大野城」の学習会を行いました。

宇美町役場の学芸員松尾尚哉さんの講義を受けた後は、約2時間かけて現地を歩きました。

大野城跡は、宇美町、太宰府市、大野城市にまたがる朝鮮式山城で、宇美町が約8割を占めています。

ミニ万里の長城と言われている、約8kmにも及ぶ土塁に囲まれた城内には、70棟もの建物が建てられその多くはコメ蔵でした。

蔵には粃殻が付いたままのコメが備蓄され満タンになるとしっかりと錠前が掛けられ厳重に管理されていました。

一つの蔵で4,000人が一年間暮らせ、外国(唐や新羅)が攻めて来ても大宰府政庁の役人全員が何年も籠城できたと言われています。

宇美町が全国に誇れる「国の特別史跡大野城跡」を今後の観光行政にどう生かしていくかが大きな課題です。



焼米ヶ原の尾花礎石群の横をちょっと掘ってみると、1300年前の炭化米が採取できます。我々の祖先が口にしていたコメを手にとることにロマンを感じます。

VR・ARでよみがえる大野城跡復元プロジェクト
大野城跡のコメ蔵が最新映像でよみがえりました



3月15~17日に、大野城跡の増長天礎石群で、大野城跡の建物が最新映像でよみがえる、復元プロジェクトがおこなわれました。

高さ8メートルの巨大なコメ蔵が仮想映像で蘇り、今後の観光プロジェクトの起爆剤になりそうです。



全国町村議会広報コンクールで奨励賞を受賞
宇美町議会だより(こんにちはうみ議会です)

広報委員会で編集している、宇美町議会だより「こんにちはうみ議会です」が、町村議会広報全国コンクールで、「奨励賞(編集・デザイン部門)」を受賞しました。

全国928町村中入選は21紙で、宇美町議会としては初の入選になりました。

審査員からの講評では、「議案情報も、議案内容の説明文を設け、丁寧な編集。可読性の良い文字組、情報区分で変化させた紙面表現など、表現スキルの基本もしっかりしている」、「暖色系の“こんにちはうみ議会です”のロゴデザインが目を引く」などお褒めの言葉をいただきました。

町民の皆さんに議会に関心をもってもらいたい。そのためにも、「まずは手に取っていただける広報づくりから。」を合言葉に、議会だよりの編集に取り組んでいきます。

